

令和4年度 ひきこもり支援について【北海道分】(札幌市を除く)

1 ひきこもり支援状況等調査について

1 市町村の状況

① 市町村におけるひきこもりの把握状況について (n=178)

	把握市町村数	把握数	支援者数	推計人数	把握率	支援率
R1	94	52.8%	1,011	74	41.6%	663
R2	102	57.3%	1,117	77	43.3%	722
R3	94	52.8%	6,336	79	44.4%	807
R4	86	48.3%	9,161	87	48.9%	703

※R3～把握数=実数+推計人数となっており、実数及び推計人数を把握している自治体については両方を足し上げています。

※推計人数を算出するにあたり、対象とした年齢は自治体によって異なります。

	実数を把握		推計人数を把握			
	把握市町村数	人数	把握市町村数	人数		
R4	86	48.3%	1,392	37	20.8%	7,769

R4	人数把握あり、支援実績あり		67	37.6%
	人数把握あり、支援実績なし		19	10.7%
	人数把握未実施だが支援実績あり		20	11.2%
	人数把握、支援実績ともになし		72	40.4%

*R4 年齢階層別把握数・支援者数(実数を把握している市町村分のみ掲載)

年齢階層	把握数				支援者数				支援につながった割合(B+A)
	総数(A)		男女		総数(B)		男女		
15歳未満	122	8.8%	65	57	42	6.9%	24	18	34.4%
15～19歳	148	10.6%	86	62	50	8.3%	33	17	33.8%
20～29歳	229	16.5%	149	80	114	18.8%	73	41	49.8%
30～39歳	215	15.4%	141	74	116	19.2%	77	39	54.0%
40～49歳	262	18.8%	189	73	124	20.5%	89	35	47.3%
50～59歳	246	17.7%	174	72	100	16.5%	74	26	40.7%
60～69歳	93	6.7%	61	32	47	7.8%	30	17	50.5%
70歳以上	24	1.7%	9	15	8	1.3%	2	6	33.3%
年齢不詳	53	3.8%	41	12	4	0.7%	4	0	7.5%
計					605		406	199	
年齢性別不詳					98				
総数	1,392	100%	915	477	703	100%			50.5%

ひきこもりの把握方法(複数回答可) (n=86)

1.住民を対象とした調査を実施(無作為抽出)	2
2.住民を対象とした調査を実施(全戸配布)	0
3.住民を対象とした調査を実施(その他の方法)	1
4.民生委員・児童委員等を対象とした調査を実施(聞き取りを含む)	10
5.関係機関・関係団体等を対象とした調査を実施(聞き取りを含む)	11
6.日々の業務(相談対応、訪問、他部署・機関からの情報提供等)で把握	83
7.その他	2

② 市町村におけるひきこもり当事者の会・家族会等の把握状況 (n=178)

	把握有	内訳			計	
		当事者	家族会	その他		
R1	2	11.8%	6	14	8	28
R2	23	12.9%	12	20	5	37
R3	26	14.6%	9	19	7	35
R4	31	17.4%	12	20	7	39

③-1 ひきこもりサポート事業 (n=178)

	実施	未実施				
		検討中	未検討・実施予定なし	未実施		
R2	2	1.1%	10	5.6%	166	93.3%
R3	7	3.9%	8	4.5%	163	91.6%
R4	6	3.4%	9	5.1%	163	91.6%
R5	7	3.9%	10	5.6%	161	90.4%

※ひきこもりサポート事業の類似事業

R5	有			無			未記入		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
14	7.9%	164	92.1%	0	0.0%				

③-2 ひきこもり支援ステーション事業 (n=178)

R5	実施	未実施			
		検討中	未検討・実施予定なし	未実施	
0	0.0%	5	2.8%	173	97.2%

※ひきこもり支援ステーション事業の類似事業

R5	有			無			未記入		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	2.2%	174	97.8%	0	0.0%				

③-3 ひきこもり地域支援センター事業 (n=178)

R5	実施	未実施			
		検討中	未検討・実施予定なし	未実施	
2	1.1%	3	1.7%	173	97.2%

※ひきこもり地域支援センター事業の類似事業

R5	有			無			未記入		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
6	3.4%	172	96.6%	0	0.0%				

2 保健所・精神保健福祉センターの状況

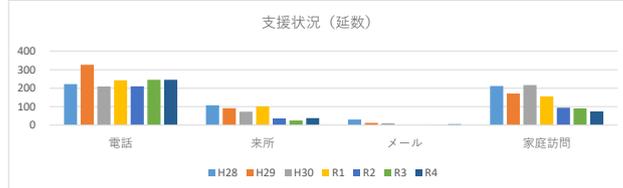
① 支援実績(精神保健福祉センターは家庭訪問実績なし)

支援方法	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
電話	102	105	109	156	101	142	97
来所	51	51	56	62	28	20	16
メール	5	4	6	0	0	1	3
家庭訪問	57	58	66	52	30	31	28
計	215	218	237	270	159	194	144



② 支援延数(精神保健福祉センターは家庭訪問実績なし)

支援方法	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
電話	222	327	209	243	210	246	246
来所	107	92	73	101	36	25	38
メール	30	12	10	0	0	1	5
家庭訪問	212	171	217	156	94	91	74
計	571	602	509	500	340	363	363



③ ひきこもり当事者及び家族会等の把握状況(26保健所、センター1カ所)

区分	把握有	内訳			計	
		当事者	家族会	その他		
保健所	16	61.5%	8	21	10	39
センター	1	100%	0	2	0	2

④ 保健所における支援上の課題・地域の課題等(抜粋)

- 両親の高齢化等により本人への援助が難しくなった際に、本人の自立や健康に関する問題が明るみになる。
- 本人が支援介入を拒否しており、その家族も支援者の深い介入を怖がっている。
- 家族からの相談が主であるが、早期的な解決に至らない場合、支援が遠切れてしまう。
- 地域に存在しているひきこもりの事例はあるはずだが、電話や来所相談等が少なく、実態把握が難しい。
- 地域上、協力を得られる関係機関が限られているため、支援者の負担が大きい。
- 家族会の参加者が少なくなつて定量化しており、グループ支援の効果が小さくなってきている。
- 親の会の課題としては、高齢化により運営が負担になっていることや、健康障がい等で参加が難しくなっているメンバーがいることが挙げられる。

II 北海道ひきこもり成年相談センターの相談状況について

	相談者実人数		相談者延人数		個別相談					訪問	
	人数	(うち新規)	計	小計	電話	来所	メール	出張相談等	訪問小計	本人・家族	
										本人	家族
R2	236	(92)	524	511	121	100	289	1	13	7	6
R3	243	(91)	513	508	142	63	303	0	5	3	2
R4	251	(94)	563	549	147	91	309	2	14	11	3